

わたしに まかせて

三学きの はじめ、ゆりは 学きゅうの せいりがかりに なりました。

ゆりの クラスには、学きゅう文この 本や 生かつかで つかう ファイル、
どうとくの 本、それから 朝の 会で うたう うたの がくふなど、せいりする
ものが たくさんあります。

みんなで つかった あと、もとに あった ばしよに 本が なかったりして、
つぎに つかうときに、こまっってしまう ことが あります。

ゆりにも、よみたい 本が 見つからず、あとになって どうとくの 本だなに
まじって いたのを見つけた ということが ありました。

(せいりが できていないと、いやだなあ。だったら わたしが……。)
と、ゆりは 思い、せいりがかりに ならうと きめたのでした。

きょうの ひるやすみ、せいりがかりは 本だなの 本の せいを することに
なって いました。おなじ かけりのまきおは かせで おやすみでしたので、ゆり
ひとりで はじめました。

(本の 大きさや おはなしの しゆるいによつて せいりしたら、きつとつかいやすいだろうな。)

ゆりは じぶんが よみたい本を さがすときの ことを 考えました。そして、上の だん、まん中の だん、下の だんと、本を ならべかえて いきました。

はんぶん ぐらい 本の せいりが すんだころ、

「ゆりちゃん、いっしょに 大なわ やらない?」

「まきおくん やすみ なんだから、あとで すれば いいんじゃない?」
なかよしの なおと はるかが ゆりに こえを かけて ききました。

(のこりの ぶんは まきおくんに まかせようかな……。)
ゆりの 心が ゆれました。

「ありがとう。でも、わたしの しごと だから……。」

そういうと、ゆりは また 本の せいりを はじめました。

(やっと、おわった!)



キーン♪ コーン♪

五こうじを しらせる チャイムが なりました。

みんなが きょうしつに もどって きました。そして、本だなを 見て、

「うわあ、きれいに なって いる。」

「きちんと ならべて あって、つかい やすそう。」

「せいりがかりさん、ありがとう。」

と いいました。

「わたしに まかせて！」

と、ゆりは 大きな こえで こたえました。そして、

(さいごまで しごとを して ほんとうに よかったな。) と 心の中

思いました。

(和井内 良樹 作)

わたしに まかせて

(低学年 4-(2))

(1) ねらい

みんなのために働くことのよさを感じ、周りの人たちの役に立とうとする心情を育てる。

(2) 資料の特質

クラスの整理係として仕事をする主人公ゆりの直向きな姿がえがかれている。休み時間に一人で図書の本の整理をする場面では、投げ出したい気持ちに揺れながらも、自分に任された仕事として最後まで一生懸命に取り組むゆりであった。みんなのために仕事を行うゆりの喜びや充実感に十分共感するようにしながら、ねらいに迫りたい。

(3) 展開例

- 1 任されている仕事について発表し合う。
- 2 資料「わたしにまかせて」を読んで話し合う。
 - ①どんな気持ちからゆりは整理係の仕事をするようになったのか。
 - ・ほめられるかもしれないな。
 - ②仕事をしているときに、一人っきりになってしまったゆりは、どんなことを心の中で思ったか。
 - ・こんなに大変なのに、どうしてわたしひとりだけなの。
 - ・仕事だから最後までやろう。
 - ③(仕事をしてよかったな)とゆりが思ったのはどうしてか。
 - ・みんなに喜んでもらうことができ嬉しかったから。
- 3 周囲の人のために役立つ仕事をした体験をワークシートに書いて発表し合う。
- 4 映像を視聴する。
 - 学校やクラスの映像を視聴させる。「あなたからみんなへ」を提示し、周りの人たちの役に立とうとする意欲を育てたい。

(4) 指導上の留意点及び工夫

展開例3では、体験やそのときの思いをワークシートに記述して3～4名のグループで発表し合い、「よかったね」「みんなのためにがんばろうね」などと声をかけ合うよう促す。

〔本文イラストは酒井桃華による〕